

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

<b>整理番号</b> 13	<b>実施項目</b> 地震津波警報器の設置
-------------------	---------------------------

<b>大項目</b> 情報収集・伝達体制	<b>細項目</b> 情報収集体制	<b>関連事例</b> 11、12、14
<b>実施対象施設</b> 計器室等	<b>実施費用</b> 数万円程度	<b>実施に要する期間</b> 数日～数週間程度

**津波被害事例等**

- 東日本大震災時に、停電により津波情報が得られず避難が遅れる事態を招いた。
- 非常用緊急電源を確保し、地震、津波等の防災情報を確実に受信する整備が必要。

**津波対策事例**

＜ポータブル電源＞

災害時の停電などの非常用電源として常設しておく。

（仕様例）

- ・ 高さ 85 × 幅 220 × 奥行 250mm 質量 3000g  
AC100V・USBの出力が可能
- ・ AC100V時：10VA⇒10時間、20VA⇒5時間、40VA⇒2時間30分



ポータブル電源

＜地震津波警報器＞ \*各事務所に配備している。

地震津波警報器は、次の場合に警告音とともにその内容を放送する機能（メーカーにより異なる）を有しており、これを設置することで津波警報の発表状況等をいち早く収集することが可能となる。

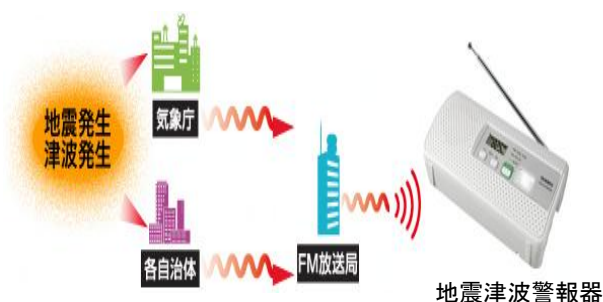
- 1) 震度5弱以上の地震情報
- 2) 津波警報等の津波情報
- 3) 避難命令措置の発令状況



地震津波警報器

＜活用状況＞

ポータブル電源及び警報器を事務所棟に設置し、災害情報の収集に努めている。



地震津波警報器

**要点**

- 迅速かつ確実な避難を可能とするための情報伝達手段の強化・多様化が必要
- 地震発生時の状況（停電の発生等）を踏まえた確実な情報の伝達手段